

山形の夏を彩る

ガタゴンまつり



山形町の夏の風物詩「ガタゴンまつり」が、8月23日に川井地区で開催されました。小中学生が

担ぐみこしを先頭に、流し踊りが通りをパレード。ガタゴン広場ではステージイベントが行われ、歌や踊りが会場を盛り上げました。

同時開催されたガタゴン夜市には多数の屋台グルメが出店。清水商店のブースでは、山形中学校3年生と共同開発した、生地に炭パウダーを練りこんだおやき「山中焼」が販売されました。山中焼は、同校の総合学習「地域学」の一環で、生徒たちが地域特産の炭を使った商品として企画。「ごまあん」と「白あんクリームチーズ」の2個セットで販売され、用意した65セットを完売しました。

販売を担当した木地谷一歌さんは「たくさんの人に買っていただき、販売を通じて私たち中学生の取り組みを知ってもらうこともできてうれしいです」と笑顔を見せました。生徒たちは、10月18日に平庭闘牛場で開催される平庭闘牛大会もみじ場所でも山中焼の販売を行う予定です。

machi no wadai

少年消防クラブ職場体験

8月5日、久慈消防署で少年消防クラブ職場体験が開催され、久慈管内の少年消防クラブと放課後児童クラブの児童91人が参加しました。児童らは、3つのグループに分かれて、起震車で地震や消防職員の仕事を体験。はしご車への搭乗、火点を模した標的への放水、火災対応時に使用する防火装備の装着など、火災から市民を守る仕事に触れ、目を輝かせました。放水体験をした板橋ちとせさん(大川目小3年)は「水が出るとホースがすごく重くなりました。先端を回すと出てくる水の形が変わって面白かったです」と話しました。

1/はしご車の高さに少し緊張した顔を見せる児童 2/消防署員と同じサイズの防火衣を着用 3/ポンプ車を使用した放水・消火体験



1/手作りのみこしを担ぐ山形中学校の生徒 2/ステージで山中ソーランを披露 3・4/葛巻高校郷土芸能部による神楽 5/チアダンスクラブ Cherish のパフォーマンス 6/「山中焼」を販売する山形中学校の生徒

